

## EUSI メールマガジン Vol. 036

### 「The 5th Euro-Asia Summer School 参加報告」(EUSI サマースクール体験記)

EUSI (EU Studies Institute in Tokyo)は、一橋大学・慶應義塾大学・津田塾大学の3校のコンソーシアムによるEUに関する教育・研究・広報を行う拠点です(詳しくは以下をご覧ください)  
[http://eusi.jp/content\\_jp/aboutus/about\\_eusi/](http://eusi.jp/content_jp/aboutus/about_eusi/)

#### 【EUSI サマー・スクール参加者体験記】

##### 「The 5th Euro-Asia Summer School 参加報告」

石居莉果 (津田塾大学国際関係学科3年)

私は2013年8月19日から31日まで、韓国のソウル大学とベルギーのルーヴェン・カトリック大学で、EUとアジアにおける地域統合及びグローバル・ガバナンスについての理解を深めることを目的として、このサマープログラムに参加しました。2013年サマースクールには、日本の学生9名を含む、総勢24名の学生が参加し、韓国やベルギーの学生だけではなく、イギリスや中国の学生も参加するなど、様々な文化的背景を持つ人々が集まったので、話しをしても飽きることがなく、2週間のプログラムがあつという間に感じられてしまうほど、充実した日々を過ごすことができました。

私たちEUSI東京の学生は、サマースクールに参加する前に、2ヶ月間の事前オリエンテーションを行う期間があり、その中でEUとアジアにおける地域統合及びグローバル・ガバナンスに関して現在直面する問題について、2、3人でグループワークをしました。私たちのグループでは、日本だけではなく世界からも注目される、アベノミクスに焦点を当てました。特に、アベノミクスの成長戦略の一つである、農業政策とEUの共通農業政策(CAP)を比較し、考察しました。この調査で分かったことは、アベノミクスが掲げる農家の所得倍増計画と似たようなことが、EUの共通農業政策では既に行われていたことであり、農業政策における日本とEUの類似点や相違点について考えることができたと同時に、今まで馴染みの少なかったEUの農業政策について、日本との関連性を見出すことができたことです。

このようなことから、私はサマースクールに参加する学生がアベノミクスについて、何らかの関心を持っているのではないかと考え、何人かの学生に尋ねてみることにしました。ソウル大学に滞在中は、韓国の学生2人に日本の経済政策に関心を持っているか尋ねました。しかし、実際に話しを聞いてみると、2人とも日本の経済政策よりも政治問題を重視していました。

このような背景には、日本の近隣諸国の一つである韓国は現在でも日本から大きな影響を受けている一方で、竹島問題や従軍慰安婦問題などという政治的問題が残されていることがあり、それらの問題が歴史的な事柄も併せ持つために、韓国の国民にとっては日本に対する根深い嫌悪感を持つ原因なのではないかと思えます。実際に、現地の宿舎にあったテレビでは、日中に日本の従軍慰安婦問題をテーマにしたドキュメンタリー番組が放送されており、日本の元首相も取材を受けている様子が流れていました。したがって、韓国では日本

に対して大いに興味を持っていても、その対象は経済政策ではなく、現在でも未解決の政治問題にあるために、韓国の学生も日本の政治に注目しているようでした。

その一方で、ベルギー滞在中に、ルーヴァン・カトリック大学の学生に日本の経済政策について聞いてみると、アベノミクスの存在は知っていても、それが日本という特定の経済政策であるため、他国に適用できるとは考えておらず、あまり興味を持っているようではありませんでした。確かに、日本とEUでは経済状況が異なるゆえに、いくら日本経済においてアベノミクスによって景気が上向いたとしても、EUから見ればそれは東アジアの国の一つの経済政策としか思われないかもしれません。しかし、日本とEUの農業政策に関して言えば、農家に対する政府の支援は似ているところがあるため、両地域が置かれている状況にも共通点を見出せると考えます。

このように、私は2週間という短期間でも、サマースクールに参加したことで、様々な物の見方があることを知り、また自分自身ももっと視野を広げて学ぶという学習意欲を持つことができたという点で、私の今後の学生生活に大きな意味をもたらしてくれたと思います。

## 【EUSI イベントご案内】

### 1. EUSI 政治プロジェクト研究会

「EU は安定しているか? --欧州統合の領域と加盟の深化・拡大についての再考」  
"Is The EU Stable?: Deepening, Widening of Scope and Membership Revisited"

日時: 2013年11月12日(火) 16:30-18:30

場所: 慶應義塾大学三田キャンパス 南館 B4 2B42 号室

言語: 英語 (通訳なし)

講演: ジャック・ペルクマンス教授 (Prof. Jacques Pelkmans)

(College of Europe 客員教授・欧州政策研究センター(CEPS)上級研究フェロー)

司会: 細谷雄一教授 (慶應義塾大学法学部)

<http://eusi-politics.tumblr.com/post/65433241216/eu-2013-11-12>

### 2. 「エラスムス・ムンドゥス」修士・博士課程プログラム説明会

EU は「エラスムス・ムンドゥス」という名前のプログラムを通して、世界中の学生に欧州へ留学する機会を提供しています。またエラスムス・ムンドゥスのコースで修士・博士課程で学ぶ学生のために、奨学金が用意されています。関心のある方は奮ってご参加下さい。

日時: 2013年11月13日(水) 12:15-13:15

場所: 一橋大学 32 番教室

講師: Richard Kelner (駐日 EU 代表部学術協力担当)

[http://eusi.jp/content\\_jp/education/scholarship/20131113erasmu.html](http://eusi.jp/content_jp/education/scholarship/20131113erasmu.html)

## 【EUSI 所属研究者による記事・執筆情報紹介】

中西優美子 (一橋大学大学院法学研究科教授・EUSI 執行委員)

「環境情報アクセス権に関する EU 指令 2003/4 の二条の解釈(VI(1))

『立法機関として行動する機関』の意味」

## 【EU 法における先決裁定手続に関する研究(2)】

『自治研究』89 巻 11 号(2013 年 11 月)76-86 頁

<http://www.daiichihoki.co.jp/store/products/detail/100416.html>

林秀毅 (EUSI 主任研究員・一橋大学国際・公共政策大学院客員教授)

「消費税引き上げの条件は」

『日本経済新聞』十字路(2013 年 11 月 6 日夕刊)

標準税率が 25%であるデンマークやノルウェーの政策運営のあり方を紹介している。

林秀毅 (EUSI 主任研究員・日本経済研究センター特任研究員)

「ECB 利下げ後の展開 銀行の資産査定が焦点に」

『欧州経済・金融リポート』(日本経済研究センター)(2013 年 11 月 12 日)

<http://www.jcer.or.jp/column/hayashi2/index555.html>

## 【EU に関するニュース】

2013 年 10 月 15 日 欧州全地球航法衛星システム監督庁(GSA)、2022 年までの衛星測位市場に関する報告書発表

2013 年 10 月 15 日 レッタ伊政権、2014 年予算案承認。財政赤字 GDP 比は EU 上限の 3%下回る見通しも、小幅修正

2013 年 10 月 16 日 欧州委員会、EU 拡大計画 2013 発表。アルバニアを加盟候補国、マケドニアと加盟交渉等勧告

2013 年 10 月 16 日 欧州委員会、欧州領空域にも EU 温室効果ガス排出量取引制度を適用する改正案提出

2013 年 10 月 16 日 Eurostat、8 月貿易収支はユーロ圏 17 カ国で 71 億ユーロ黒字・EU28 カ国で 28 億ユーロ赤字

2013 年 10 月 16 日 欧州自動車工業会(ACEA)、EU 域内 9 月新車販売台数は 115 万 9066 台で、前年同月比 5.4%増

2013 年 10 月 17 日 欧州委員会、運輸新インフラ政策発表。より安全・高速運輸に向け 9 幹線輸送網構築整備

2013 年 10 月 17 日 欧州委員会、サムスン電子が制裁金回避のためアップル社への特許訴訟を 5 年間自粛と発表

2013 年 10 月 18 日 EU・カナダ、包括的経済・貿易協定(CETA)締結。関税 99%撤廃など柱。域外 G8 と初の FTA

2013 年 10 月 18 日 EU 外務理事会、欧州委員会に対して中国及び ASEAN との投資協定交渉開始権限を承認

2013 年 10 月 20 日 ルクセンブルグ総選挙。ユンケル首相のキリスト教社会党(CSV)が 60 議席中 23 で第 1 党確保

2013 年 10 月 21 日 財務省、本年度上期貿易統計発表。対 EU 貿易は輸出 3.45 兆円・輸入 3.83 兆円で 3768 億赤字

2013 年 10 月 21-25 日 日・EU EPA 交渉第 3 回会合、ブリュッセルで開催。知財・投資など分野別協定案協議

2013 年 10 月 22 日 EU 理事会、欧州国境監視システム(EUROSUR)創設の規則採択。国境監視運用情報共有など

2013 年 10 月 22 日 EU 理事会、トルコとアキ・コミュニテール第 22 章(地域政策・構造調整)交渉開始見解確認

2013 年 10 月 22 日 スーチー氏、欧州議会より 1990 年授与決定を受けたサハロフ賞を欧州議会にて正式に授与

2013 年 10 月 23 日 ECB、圏内 128 大手銀行に対して 3 段階で行う包括的健全性審査方式発表。厳格な審査導入

2013 年 10 月 23 日 ドラギ ECB 総裁、銀行破綻処理に関し 2015 年までに単一破綻処理メカニズム(SRM)合意求める

2013 年 10 月 23 日 欧州委員会、新たな標準的 VAT 申告手続を提案。企業の負担軽減や租税法令順守簡便化など

2013 年 10 月 24 日 バローゾ委員長ら EU 首脳、労使代表らと協議。雇用や社会対話など社会的側面強化で

合意

- 2013年10月24日 ECB、ユーロ圏金融システム内の過剰流動性が2011年以来初めて2000億ユーロ割れと発表
- 2013年10月24-25日 欧州理事会、経済・社会政策やEMUに関して幅広く協議。声明内に米通信傍受盛り込む
- 2013年10月28日 日・EU外相会談。安保・経済連携強化・グローバルな利益増進など日・EU関係展望協議
- 2013年10月28日 アシュトン EU上級代表ら、グルジア大統領選の民主的実施とマルグベラシビリ当選に祝意
- 2013年10月29日 EU理事会、対ベラルーシ制裁措置を2014年10月31日まで延長することを決議
- 2013年10月29日 欧州委員会、電気通信・eサービスへの新VAT規定に向け企業向け実用的ガイドライン発表
- 2013年10月29日 欧州委員会・ECB・IMFトロイカ調査団、キプロス支援プログラム第2回進捗調査開始
- 2013年10月30日 ポルトガル政府、欧州委員会・ECB・IMFトロイカ財政支援来年度終了後も歳出削減継続へ
- 2013年10月30日 英調査機関CityUK、英銀101行へ調査。84%が英EU残留希望・65%がEU規制改革が鍵と指摘
- 2013年10月31日 ECB及び日米英加瑞5カ国中央銀行、来年2月までの相互通貨スワップ協定を恒久的制度化へ
- 2013年10月31日 欧州委員会、省資源に向けた14の研究プロジェクトに総額4000万ユーロの資金拠出を許可
- 2013年10月31日 Eurostat、9月失業率はユーロ圏17カ国で12.2%と過去最悪、EU28カ国は11.0%で横ばい
- 2013年10月31日 中国商務部、EU産太陽光パネル原料・多結晶シリコンの不当廉売・補助金調査継続と発表

### 【編集後記】

今回は「サマースクール報告」の最終回として、津田塾の石居さんからのレポートをお送りします。

折から気候も急に冷え込み、秋らしくなってきました。EUSIではこの時期から、高校訪問が始まります。駐日EU代表部と協力し、首都圏の高校を訪問してEUの歴史や社会的な活動、ユーロ危機の背景と今後などについて説明します。これは昨年度2校から始まった企画ですが、今年度は全部で8校を訪問する計画です。先日、その第一弾として、筑波大附属高校を訪問しました。EUSIとしては初めての男女共学校への訪問であり、やや緊張しましたが、当日は明るい雰囲気、「EUと日本の財政状態の比較」「EU・日本の自由貿易協定(FTA)交渉の現状」など、今日的な話題に即した活発な質問と議論が、全て英語で行われました。このような催しが、若い世代の皆さんにとって、EU・欧州に関心を持つ良いきっかけになればと願っています。

(林 秀毅・EUSI・一橋大学・EUSIメールマガジン編集担当)

食欲の秋という言葉があるとおおり、この時期は収穫シーズン(ドイツ語で秋は"Herbst"と言います)で、色々な天の恵みを受ける時期でもあります。ワイン好きの方にとっては、まもなく仏ワインのボジョレー・ヌーボーの解禁(11月21日)が近づいており、またビール好きの方にとっては、独のミュンヘンで始まったオクトーバーフェストが全国至る所で開催され、楽しみに胸を膨らませていることでしょう。

ところで最近、日本では食品表示偽装問題が明るみになってきています。阪急阪神ホテルズレストランでの食品表示偽装に端を発し、全国各地で表示と異なる食材を"誤表記"していたというニュースが至るところで見られるようになり、食の安全とモラルという点でいま一度関心が高まりつつあります。

そのような中で、今週から欧州より35もの生産者団体が来日し、欧州の高品質

な食材に改めて着目してもらおうという催しながなされています。「Tastes of Europe」と呼ばれるこの試みは、EUの食品品質・名称認証制度であるGI(地理的表示)認証を受けた確かな品質を誇るヨーロッパの豊かな食材を、日本の消費者の皆さんにもっともっと知ってもらおうという取り組みで、今週はチオロシュ農業担当欧州委員も来日して、欧州の食品の販売促進に一役買っています。EUからはレシピブックも公開されていますので、料理好きな方には食を通じてこの秋の季節にヨーロッパを感じてみてはいかがでしょうか？

「Tastes of Europe ～28のレシピでめぐるEUの旅～」

[http://www.euin-japan.jp/wp-content/uploads/Online\\_131017\\_DG-AGRI\\_Japan\\_Cook-Book\\_hw.pdf](http://www.euin-japan.jp/wp-content/uploads/Online_131017_DG-AGRI_Japan_Cook-Book_hw.pdf)

(林 大輔・EUSI 慶應分室・EUSI メールマガジン 編集担当)

---

EUSI (EU Studies Institute) in Tokyo

〒186-8601 東京都国立市中 2-1

一橋大学 マーキュリータワー#3504 EUSI 事務局

TEL: 042-580-9117 / E-mail: [info@eusi.jp](mailto:info@eusi.jp)

ご意見、ご感想、配信登録・配信停止、その他メールマガジンについての  
問い合わせにつきましてはこちら

E-mail: [info@eusi.jp](mailto:info@eusi.jp)

---